

かどがわ家庭学習モデル

中学生の家庭ドリル学習



みなさんの将来には、様々な可能性があります。その可能性を最大限に引き出し、自分の夢をかなえるためには、学習に真剣に取り組んで、確かな学力を身につけなければなりません。

ここで紹介する、「かどがわ家庭学習」や「かどがわ学びノート」は、授業と家庭学習をつなぐためのドリル学習を中心としてつくったもので、自学の力をつけるために大変有効です。これからの家庭学習の参考にして、自ら学ぶ方法をしっかり身につけてください。

(注) 教科書を何度も読んだり、できるようになるために漢字や計算、英語の単語などを何度も繰り返し練習したりすることをドリル学習と言います。ドリル学習は、確実に勉強ができるようになる大切な勉強方法です。

“かどがわ家庭学習”の約束



- 1 学校の宿題や課題は、必ず最初に済ませましょう。
- 2 「かどがわ家庭学習」にしたがって、勉強を進めましょう。
- 3 「かどがわ学びノート」を参考にして、宅習をしましょう。
- 4 必ず答え合わせをして、まちがえたところはやり直しましょう。
- 5 毎日、学習ノート1～2ページは勉強しましょう。
- 6 学習ノートは、次の日、先生に見てもらいましょう。

“かどがわ家庭学習”の進め方

◇ 勉強のめあて

勉強のめあて

- 自分の課題を考えて、計画的に勉強ができるようになりましょう。

勉強時間のめあて

- 1・2年生は、2時間以上
- 3年生は、3時間以上

◇ 勉強の順番

1 学校からの連絡やプリントなどを、家の人に渡しましょう。

2 まず、課題や宿題を済ませましょう。

3 “かどがわ学びノート”を参考にして学習しましょう。

- 国語や英語で学習しているところを、声を出して読みます。(2~3回)
- 国語の教科書やノート・プリント・学習資料を使ってドリル学習をします。
- 数学の教科書やノート・プリント・学習資料を使ってドリル学習をします。
- 社会や理科などの大切な語句や用語を練習します。(教科書や資料を見ながら)
- 英語の単語や例文などをドリル学習します。

※ 国語や英語の音読は、毎日します。
学習は、いくつか組み合わせてします。

4 読書をしたり、生活ノート(生活記録)を書いたりしましょう。

5 学校に行く準備をしましょう。(学習予定やメモを見て)

◇ 勉強の計画

- 曜日ごとに、学習を始める時刻を決めましょう。
 - ※ できるだけ、毎日同じ時間にするようにしましょう。
 - ※ 見たいテレビや習い事のことも考えて決めましょう。

曜日	日	月	火	水	木	金	土
始める時刻	時分	時分	時分	時分	時分	時分	時分

※ 日付を書きましょう。

《今日の授業復習スペース》

(今日の授業の復習をしましょう。)

【例】(社会)

国民の代表～議員→**議会**～民主政治が行われる

↓ ～**議会制民主主義**
国会 ～法律をつくる～**立法**

教科書やノート、授業で使う問題集やプリントを活用して、今日授業で学んだことをしっかり復習しよう。
 特に、不得意な分野の復習をしっかりとしよう。

- ※ 重要語句やポイントを色鉛筆で書くなど工夫しよう。
- ※ 写すだけでなく、「覚える」ことを大切にしよう。



《宿題(ドリル学習)スペース》

(問題集などを使って、授業と同じところを勉強しましょう。)

【例】(数学)

$\begin{aligned} (1) \quad & a+2b+3(a-b) \\ & =a+2b+3a-3b \\ & =4a-b \end{aligned}$	$\begin{aligned} (2) \quad & 3(2a+b)+4(a-3b) \\ & =6a+3b+4a-12b \\ & =10a-9b \end{aligned}$
---	---

宿題の問題集などをしよう。教科書の問題集や授業の時にもらったプリントなどを使って学習しよう。



- ※ 数学の計算式は、しっかり書こう。
- ※ 基本的に問題文などは書かずに、式や計算、答えのみを記入し、多くのドリル問題に挑戦しよう。

- 勉強する広さは、問題の数や書く量によって、ちょうどよい広さをとるようにしましょう。
- ノート1～2ページは勉強しましょう。

《反復スペース》

(大切なことをもう一度練習しましょう。)

【例】(英語)

water water water water water water
I have just arrived here.
I have just arrived here.
I have just arrived here.

【例】(社会)

小選挙区比例代表並立制 小選挙区比例代表並立制 小選挙区比例代表並立制

宿題(ドリル学習)や授業でわからなかったところを繰り返し書き込んで、しっかり覚えるようにしよう。



- ※ 繰り返し、何度でも、覚えるまで書き込もう。
- ※ 書いていることを声に出しながら書き込むと、より覚えられと言われています。

《フリースペース》

(自分で足りないと思う学習や予習などをしよう。)

【例】(理科)

同じ速さで直線上を動く運動～等速直線運動

等速で運動する物体の移動距離は経過した時間に比例

$$\text{移動距離[cm]} = \text{速さ[cm/秒]} \times \text{時間[秒]}$$

授業で使う教材を活用して、自分でまだ足りないと思う学習にしっかり取り組もう。

- ※ 予習のスペースとして活用してもよいでしょう。
- ※ 不得意分野の克服に挑戦しよう。
- ※ 以前学習したことを思い出しながら、再度覚えることも大切です。



- ※ スペースを埋めることではなく、「覚えること」を重視した宅習にしましょう。
- ※ 「授業が基本」です。今日、授業で学んだことをしっかり復習しましょう。
- ※ テスト前は、それぞれのスペースをテストに応じた内容にするとよいでしょう。

